

学校教育目標

可能性に挑戦！

～肯定的な関わりの中で、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～

＜めざす児童像＞ ～夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子～

- 自分で心のスイッチを入れ、最後までやりとげ、やり続ける子
- 自分の思いを表現し、仲間とともに助け合い、学び合える子
- 自分の気持ちをコントロールできる子

＜めざす学校像＞

- 一人一人の良さが認められ、一人一人が大切にされ、居心地のいい学校
- 「学び合い」「助け合い」等肯定的な「合い」に満ちた学校
- 子どもたちの安全・安心が保障され、家庭・地域から信頼される学校

＜めざす教師像＞

- 子ども・保護者のこえに誠実に耳を傾け、思いに寄り添うことができる教師
- 子どもたちが学ぶ楽しさ・良さを感じることができる授業実践を追求できる教師
- 教育愛にあふれ、子どもや同僚とともに学び続ける教師

＜重点取組事項＞

実践のキーワード：「聴く」「褒める」「認める」「喜ぶ」

- ☆子どもたちの姿を的確に把握し、価値づけ、意味づけを行う。
- ☆三江の子を育てるための全教職員による同僚性の構築と協働体制を確立させる。
- ☆特別支援教育、愛着形成等の視点から、子ども理解を深め、適切な支援・指導を推進する。
- ☆「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成のために
  - 「やってみる」「やり直す」「やり遂げる」「やり続ける」の4つの『や』を意識化させる。
  - 「個に応じた指導」と対話的な活動を位置つけた「協働的な学び」を充実させる。
  - 魅力ある課題設定と思考と表現を重視した後半重視型の授業づくりを目指す。
  - 「言語活動」「知的活動」の充実や「豊かな心」育む観点から読書活動の推進を図る。
  - ICT を効果的に活用した学習活動を推進する。
  - 体験活動や縦割り活動を推進する。
  - 非認知能力向上の視点を持ち、あらゆる教育活動に位置づける。
  - 「コウノトリ」や地域の「ひと・もの・こと」に学ぶふるさと教育、環境教育を充実させる。
  - 運動時間、外遊びの保障と「姿勢・体幹」指導を推進する。
  - 「心・体・頭の力」を守る「食育」「眠育」指導を充実させる。
  - 自らの「命」の守り方と主体的に行動する力を育む防災・防犯学習を充実させる。
- ☆家庭・地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。
  - 家庭や地域と手を携え、望ましい学習習慣、生活習慣の確立を図る。  
(あいさつ・読書・情報モラル(省メディア)・食育・眠育等)
  - 参観日や各種通信、ホームページ等により積極的な情報発信に取り組む。
- ☆子どもたちに向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方改革を推進する。